令和7年度

(令和7年4月1日から令和8年3月31日)

事業計画書

令和7年度事業計画

1. 事業活動方針

介護保険制度が始まって以来、初めて介護職員が減少となったこと、また、訪問介護事業所の倒産件数が、過去最多を更新するなど、介護業界を取り巻く環境は厳しさを増しています。

こうした中、本社の令和7年度予算は、市川市からの受託事業である「あんしん電話受信センター事業」の終了に伴う事業収入の減少や物価高騰による運営コストの増加等に伴い厳しい状況にあり、今後ともなお一層の経営努力が必要であります。

このため、7年度では、人材不足への対応と職員の定着化を図るため、これまでも増して研修事業等の拡充や採用活動を強化するとともに、業務の効率化による生産性の向上を図るためICT化を推し進め、さらには、収益の改善等を図り、経営の健全化に取り組んでまいります。

重点課題

(1) 人材の確保及び定着

パートヘルパーの確保対策では、新たな資格者を採用に繋げるため「介護職員初任者研修事業」の拡大をはじめ、地域の潜在的有資格者を発掘するため「ペーパーヘルパーチャレンジ講座」を拡充するとともに、様々な媒体や機会を通じて、求人広告を行うなど、採用活動を強化してまいります。

また、職員やパートヘルパーの高年齢化への対応では、次世代を担う若年層の採用に取り組んでまいります。さらに、現有職員の定着化を図るため、福利厚生の実施を図ります。

(2) ICTの取組み

パートヘルパーに貸与しているスマートフォンをさらに活用するため、公式ツールを設定し、スムーズな業務運営を図ります。また、職員の勤怠管理に係るシステムを新たに導入し、事務負担の軽減に努め、業務に注力できる環境を図ってまいります。

(3) 健全な経営の取組み

持続可能な運営を行うには、安定した財源の確保が重要であります。このため、着実な利用者の確保や報酬加算の取組みなど、自主財源の拡充を図るとともに、国等に係る助成金の活用等についても積極的に取り組んでまいります。

また、7年度予算が厳しい状況にあることを踏まえ、可能な限り6年度予算を活用し、7年度に購入する物品について前倒しで購入するなど、6年度予算と連携を図っております。

2. 事業計画

(1) 訪問介護事業

①西部ヘルパーステーション

地域の利用者自身が望む生活を送れる様、依頼に対して迅速に対応し、専門職としての観察力や対応力、提案力を発揮し、居宅介護支援事業所との連携を密に図っていくことで信頼される事業所を目指します。また、巡回ステーションとも連携を強化し、依頼に対して柔軟に対応していくことで、新規利用者の獲得に繋がっていきます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	647,196単位	130件
令和6年度見込	657,286単位	130件

②南部ヘルパーステーション

居宅介護支援事業所からの依頼に迅速に対応し、利用者や家族が安心して地域で生活できるよう、専門職としての対応力と提案力を持ち、信頼される事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	389,739単位	67件
令和6年度見込	380,351単位	66件

③北部ヘルパーステーション (本体・東サテライト)

利用者が安心して在宅生活を継続できるよう、関係機関と密に連携をとりながら、利用者や家族に寄り添ったサービスを提供できるよう努めます。また、2分化したことによるメリットを生かし、西部・巡回ヘルパーステーションとの連携を強化して迅速な対応を心がけることで、信頼され、地域から選ばれる事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	580,666単位	129件
(本体)	348,400単位	77件
(東サテライト)	232,266単位	52件
令和6年度見込	552,992単位	120件
(本体)	330,331単位	83件
(東サテライト R6.8~R7.3)	222,661単位	37件

(2) 居宅介護・同行援護事業

①西部ヘルパーステーション

利用者の持つ障害特性をアセスメントや相談支援専門員を通じて把握、理解し、利用者が地域で安心して生活を送る事ができるよう、相談支援事業所と連携を図り、信頼される事業所を目指します。巡回ステーションとの連携を密に行い、依頼に対して柔軟に対応することで、新規利用者の獲得に繋げていきます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	508,254単位	67件
令和6年度見込	497,459単位	70件

②南部ヘルパーステーション

個々の障がいの特性を理解し、相談支援事業所等と連携を図りながら、自立した在宅生活や就労が継続できるよう共に考え、支援していきます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	291,238単位	57件
・居宅介護	248,750単位	51件
・同行援護	42,488単位	6件
令和6年度見込	286,361単位	56件
・居宅介護	243,873単位	50件
・同行援護	42,488単位	6件

③北部ヘルパーステーション (本体・東サテライト)

利用者が自宅で生活が継続できるよう、利用者や家族に寄り添った自立支援に資するサービスを提供します。相談支援事業所と連携を図りながら、西部・巡回ヘルパーステーションと連携をとり、充足したサービス提供を目指します。同行援護につきましても同様に、利用者のニーズに合わせたサービスを提供できるよう努めます。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	398,687単位	66件
・居宅介護 (本体)	229,644単位	37件
(東サテライト)	153,096単位	25件
・同行援護 (本体)	9,568単位	2件
(東サテライト)	6,379単位	2件
令和6年度見込	375,569単位	57件
・居宅介護 (本体)	216,328単位	33件
(東サテライト R6.8~R7.3)	144,219単位	20件
・同行援護 (本体)	9,014単位	2件
(東サテライト R6.8~R7.3)	6,009単位	2件

(3) 介護予防訪問型サービス（総合事業）

①西部ヘルパーステーション

利用者の個性、残存機能を専門職として理解し、住み慣れた地域で生活が送れる様、居宅介護支援事業所や高齢者サポートセンターと連携を図り支援していくことで、信頼される事業所を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和7年度目標値	48,130単位	30件
令和6年度見込	46,510単位	27件

②南部ヘルパーステーション

利用者が自身の持つ能力を十分に発揮し、住み慣れた地域でいきいきと自立した生活が送れるよう支援します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和7年度目標値	44,375単位	25件
令和6年度見込	43,112単位	22件

③北部ヘルパーステーション

利用者が自立した在宅生活を継続できるよう、高齢者サポートセンターや居宅介護支援事業所と連携を図りながら、適切なサービスを提供できるよう努めます。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和7年度目標値	72,431単位	45件
（本体）	43,459単位	27件
（東サテライト）	28,972単位	18件
令和6年度見込	59,852単位	35件
（本体）	36,442単位	21件
（東サテライト R6.8～R7.3）	23,410単位	14件

(4) 夜間対応型訪問介護事業

市内の夜の安心をサポートしている唯一の事業所として、24時間安心してその人らしい在宅生活が継続できるよう、定時及び緊急時の訪問や連絡、相談を受け対応します。特に日中の緊急訪問は、西部ヘルパーステーションと連携を図り、利用者のニーズに迅速に応えられるよう努めます。

巡回ヘルパーステーションの人員配置により、限られた人員で効率的な支援を組むことができるよう、他係とも連携して対応してまいります。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	273,328単位	95件
令和6年度見込	257,624単位	90件

(5) 定期巡回・随時対応型訪問介護看護(連携型)事業

24時間安心してその人らしい在宅生活が継続できるよう、定時及び緊急時の訪問や連絡、相談を受け対応します。夜間対応型訪問介護同様、日中の緊急訪問は、西部ヘルパーステーションと連携を図り、利用者のニーズに迅速に応えられるよう努めます。

巡回ヘルパーステーションの人員配置により、限られた人員で効率的な支援を組むことができるよう、他係とも連携して対応してまいります。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	192,125単位	6件
令和6年度見込	187,643単位	6件

(6) 居宅介護支援事業

主任介護支援専門員を中心に、専門職チームとして社内及び関係機関との連携体制を維持していくことで、質の向上及びICT活用と専門性の業務分担により実績増に繋げ、経営の安定化を目指します。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	255,096単位	157件
令和6年度見込	267,673単位	167件

(7) 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

要支援の認定を受けた方々に対して、高齢者サポートセンターとの協議連携を図りながら、生活支援・介護予防・社会参加から自立支援につながるケアマネジメントを行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	4,220単位	10件
令和6年度見込	8,840単位	19件

(8) 要介護認定調査事業

本公社に係る利用の有無に関わらず、要介護認定調査を継続的に行うことで、限られた時間内で対象者の持つ、様々な側面を的確にアセスメントする技術を高めていきます。

指標	市川市内	他市町村（月単位）
令和7年度目標値	8件	1件
令和6年度見込	8件	1件

(9) 計画相談支援事業

住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、日常生活全般に関して抱えている課題を整理し、利用者及び家族と共に必要な支援を受けられるようプランを作成します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和7年度目標値	110,936単位	56件
令和6年度見込	126,784単位	64件

(10) 障害児相談支援事業

児童が地域の中で健やかに成長できるよう、抱えている課題を整理し、利用者及び家族と共に将来を見据え、必要な支援を受けられるプランを作成します。

指標	報酬単位	利用者件数（月単位）
令和7年度目標値	12,696単位	6件
令和6年度見込	16,928単位	8件

(11) 養育支援訪問事業（受託事業）

市川市より委託を受け、養育者の体調不良等により育児や家事を行うことが困難な時にヘルパーが訪問し、安心した育児生活ができるよう支援します。

指標	利用時間	利用者件数（月単位）
令和7年度目標値	120時間	2件
令和6年度見込	120時間	2件

(12) 介護サポートサービス事業

ニーズや地域資源の状況を精査しながら、制度を補完するサービスとして、利用者の生活の困りごとを支援し、喜ばれる事業を目指します。

(ふくふく)

指標	活動時間	利用者件数
令和7年度目標値	3,945分	30件
令和6年度見込	3,945分	30件

(いきいき-制度相当)

指標	活動時間	利用回数
令和7年度目標値	300分	2回
令和6年度見込	180分	1回

(いきいき-非該当)

指標	活動時間	利用回数
令和7年度目標値	240分	4回
令和6年度見込	0分	0回

(りんりん)

指標	利用者件数
令和7年度目標値	1件
令和6年度見込	1件

(13) 地域包括支援事業 高齢者サポートセンター八幡 (委託事業)

①地域包括支援センター運営事業

地域に根付いた総合窓口として高齢者等が、「自分らしい暮らし」を営めるよう市川市や警察署・保健所・社協などの関係機関や、医療機関・薬局・地域の事業所・自治会や民生委員等と連携して、変化に対応した必要な援助をしていきます。

また、権利擁護イベントや家族介護教室・介護者相互の交流会等で成年後見制度や介護方法の周知に努めます。地域からの依頼を受けて依頼講座も開催し、地域と共生しながら生活支援・介護予防・社会参加の支援体制作りを実施することで、地域包括ケアシステムの実現を目指していきます。

担当地区 : 八幡・南八幡

②介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

(指定介護予防支援事業・介護予防・日常生活支援総合事業)

委託先の居宅介護支援事業所との連携を図りながら、要支援 1.2 や事業対象者認定を受け、介護予防・生活支援サービス事業の利用を希望する担当地区高齢者に対し、訪問型及び通所型サービス、基準緩和型通所サービスや福祉用具貸与(事業対象者は除く)などを利用して、介護予防や社会参加・生活機能の維持向上を目指したケアマネジメントを行います。

指標	報酬単位	利用者件数 (月単位)
令和7年度目標値	84,770単位	185件
	直営：25,652単位	56件
	委託：59,118単位	129件
令和6年度見込	75,216単位	168件
	直営：20,190単位	45件
	委託：55,026単位	123件

③認知症地域支援推進員・生活支援コーディネーター

市及び関係機関と効率よく連携を図りながら、同事業を実施する高齢者サポートセンターと協力し、地域のボランティア団体等の認知症カフェの後方支援や、社会的理解を深められる普及啓発活動を行います。地域の特性を生かしながら、認知症の悪化防止のための支援を実施します。生活支援コーディネーターは市及び関係機関との連携を図りながら、市主催の会議参加や地域ケア会議の運営に携わり、地域の資源作り支援を実施します。なお、令和6年度より認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターは兼務となりました。

(14) 介護職員初任者研修事業 (旧：2級ヘルパー養成研修事業)

訪問介護員の不足は国の重点課題にもなっており、福祉公社においても年々深刻な問題となっていることから、訪問介護員の人材確保のため、今年度は平日夜間コースを含め年2回実施します。

指標	受講者数
令和7年度目標値	20名
令和6年度実績	9名

(15) ペーパーヘルパーチャレンジ講座

人材不足解消策として、潜在する介護資格保有者の掘り起こしを目的とし、開催地域と開催日を設定、現場で使用している福祉用具を用いて、受講生の希望に柔軟に対応できる受講内容と参加しやすい体制で実施します。

指標	開催回数
令和7年度目標値	年5回
令和6年度実績	年2回

(16) 介護に関する入門的研修事業（受託事業）

市川市より委託を受け、介護未経験者に対し、介護に関する基本的な知識や技術を学んでもらい、介護分野への就労等のきっかけ作りを支援します。

指標	開催回数
令和7年度目標値	年3回
令和6年度実績	年3回